

ポケットジャーナル



★姉妹都市リガを知るう

も即売されて終日訪れる市民でにぎわっていた。

★ブモ・リ登山隊が快挙
ヒマラヤのブモ・リ峰
めざして七月に神戸を出

た（主催／神戸市、日ソ協会兵庫県支部連合会、神戸新聞社）

さんちか広場のリガ廻



初日の午前十時、井尻昌一神戸市助役、久保一郎日ソ協会長、ルードネ代理総領事らによつてテープカットが行われた。

会場には、姉妹都市提携

調印文、リガ市から贈られた民芸品や児童画、リガ市を紹介する絵画、写真などが展示され、コニャックなどを紹介する。

S F 大会が神戸で
港町、神戸。流行を常に
一步先取りしている町。神
戸。ハイカラ野郎の町、神
戸。そんな町神戸で、日本

★SFファン待望の

未開拓のプモ・リ西壁を見事正解、十二月初めには歸

激を伝える言葉が脳裏に蘇る。八月二〇日に行動開始、水河の中でのキャンプづくりに難行を極めた後、十月一三日高木、金子両隊員が頂上に向かった。小さな黒点が長い影を引いて二つの方の上方の頂上の肩へ消えていくのが非常に印象的」であったという。ほどなくトランシーバーで「今頂上に

★中堅画家二人のあゆみ
白を基調にした画面に踊る線、清潔でリズミカルだった絵が、エロスの世界にいたるといどんていどん。アカデミー画廊で開かれた南和好(行動美術)さんの近作展(10月31日~11月5日)は、新しい展開を見せて中堅作家のバイタリティを見せていく

南和好さん

SF大会を一九七五年に開こうではないか！ われわれはここに、第十四回日本SF大会開催への立候補を宣言する！」と、SFファンの会「ネオヌル」とSHINCON実行委員会などが中心となって神戸での開催を強く主張している。

誕生日
ありがとう



三百円丁七十五円
初人教授伊藤隆二著 中学生でも
えおくれる問題がわかるよう
て考えおくれる問題がわかるよう
に好評 現在まで三万五千冊頒布
共に
前川江辻先生著一雄講演集
「この子らを世の光に」などの名
講演を収録
考えよう 八十円丁二五円
中央児童福祉審議会委員会前敵
彦著ボランティアに関する八つ
の意見と問題について
精神薄弱対策の基本的な考え方
百二十円 丁五五円
前敵著世界と日本の流れの
中で精神薄弱問題を考える
ふれあれ 三百円丁七十五円
本運動京都都友の会編 索賀一雄
岡崎英彦 矢野隆夫 野上芳彦の
おどろさんののはげあたま
三百三十円 丁八十五円
京都友の会編 えおくれる子の
詩 文なみの会編
めざすはガキ大将 百円丁二五円
本運動東海地区的会編ボランティ
申込みは左記の本部まで
★誕生日 いかがどう運動とは
精神薄弱問題の啓発運動です。
みなさんの誕生日のお祝の中か
ら意識的で百円目録として貯金帳
いただく。各家庭でこの問題につ
いて話し合う機会をつくってくだ
さい。

たしたのちすこなが
たしたのちすこなが
（者）をあたたかく包む霧雨気を広
げると同時に、ひとりひとりの意をか
けがえのない生い誕生日についての意をか
めくらせ、年に一度の誕生日を有する
意義にしようという運動本部
誕生日ありがとう運動本部
神戸市黄池御幸通八の九の一
神戸国際会館一階郵便局の前
電話二五一一一六一一内線三一六



伊藤弘之さん

る。

また11月2日～8日まで

白山画廊で開かれた独立美

術の伊藤弘之さんの個展は

七年間の足あとをまとめた

もので、幻想的な風景や動

物を扱ったものから、宇宙

と人間の世界に移行し、近

作はまたとの体質的な絵

画に逆行した上で、また独

自の深みを加えようとする

中堅画二人の歩みは対象的

で興味深い。

★須磨のニュータウンに

「高倉台新聞」が誕生

神戸港沖のポートアイラ

ンドを造成するため、須磨

裏の山を削り、土を採取し

た後に作られた高倉台の二

ユータウンに、この10月か

ら「高倉台」というミニコ

ム新聞がおめみえした。

発行責任者は本誌の「技術ジャーナル」でおなじみの諸岡博熊さん。諸岡さん



自身この団地に住み、団地の場を提供できれば、と一人で取材をし、写真をとり原稿を書きながら、月二回（毎月十日と十五日）発行している。発行部数は二五〇〇部で全戸無償配布。

またシベリアを題材にした

「夏の園」をまとめた自費団地新聞を発行しているところはいくつかあるが、毎月二回づつ定期的に発行している団地は日本では他に例がなく、新しいミニコミ

紙の方向を示すものとして注目されている。

★暗くなるまで待てない？

「鎌木清順全仕事」やオーラルナイトの映画興行で気

を吐いている神戸のグルー

ープ無国籍のメンバーを中心

に「暗くなるまで待てない」という映画の自主製作

が進んでいる。

大森一樹さん作・監督、

磯本治昭さん制作のこの映

画は前衛芸術を志す撫子ち

ゃんという女性と、映画づ

くりに情熱を燃やす若者ら

を描いた80分の作品。ス

タッフ15人、出演者15人らが

費用60万円を集め、三宮元

町や神戸近郊でのロケがも大

半終わり、あとは音入れと

編集。来年はじめには神戸

で大きな発表される。

★佐々木美代子さんの

「夏の園」

ひょっこり秋の神戸っ子

ようとアマチュアカメラ

から訪れた佐々木美代子さ

ん（33）は神戸出身（甲南

高校、早大大学院露文卒）

の作家志望の女性で、この

春、シベリアの旅からの紀

行文と、モーツアルト頌

またシベリアを題材にした

「夏の園」をまとめた自費

自版（六五〇円）の一冊を

おみやげに置いて行った。

この一冊が認められ「すば

る」18号に次作が掲載予

定。主に神戸の白系露人の

ことを書きたいと神戸を訪

ねたもので、何か手がかり

や、エビソートがあれば一

報がほしいと語る。東京は

報道区天沼沼127-3白4

荘樺TEL03-7931-12

神戸の連絡先は生田区中山

手通二丁目18TEL三三三



佐々木美代子さん

美術ガイド

★兵庫県立近代美術館
特別展「世界の版画」

11/14
12/15

★白鶴美術館
三月中旬まで休館

12/1
12/12
27/8

★南蛮美術館
神戸市立高校美術展

13/1
12/12
18/11

館蔵品展
西欧古美術逸品展

12/5
12/12
12/25

★大丸百貨店美術画廊
現代韓国作家彫刻工芸展

11/28
12/1
2/2

巨匠大家の名作展
置物展

12/2
12/12
31/25

★ぎやうりー神戸
バリ在住林鶴油絵個展

12/28
13/19
12/28

工藤秀策油絵個展

12/28
12/28

★KCCアートギャラリー
第10回神戸外大美術部OB展

12/3
12/12

神戸商大美術部展

12/17/10
12/12/12

後藤宗三郎個展

12/23
12/23

御影工業高校写真展

12/28
12/28

ボートレースポートグラフ展

12/28
12/28

74武蔵野会展
第2回エクスクラ

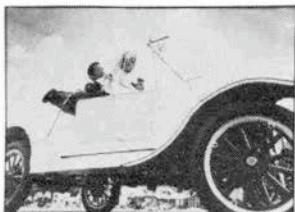
12/12/12
12/12/12

安部武油絵作品展
12/23
17/10/3



ンが三百十四点の作品を応募。みごと金賞（神戸新聞社賞）に選ばれたのは北区有野台に住む古家輝雄さんの「結婚パレード」。楽しい

「ウイークが思ひだされた。」



★ここには心を満たす何かがあります――

国鉄元町駅前に白い大きなビルが新築されたのを

計時花



★歳末たすけあい運動

に思う

師走というは何ともく氣ぜわしい。12月に入ると街はお歳暮とクリスマスセールでごつた返し

が今年も始った。今年は昨年の石油危機であちらこちらで例年の歳末たすけあい運動の行事が今度も始った。

今年は昨年の石油危機

存知ですか？あの元町プラザビルの6階に十一月十日から元町プラザ文化センターが開講されました。

講師／アートフラワー／キャンディ／日本舞踊／組ひも／スタイル画／絵／紙人形／木目込人形／日本人形／洋裁／英語進学教室／書道／漢字／かな／ベンガル／篆刻／茶道／七宝／英会話／仏会話／ギター／手芸／きもの着付け／和裁／第曲／三絃／ペレエ／フランス刺繡／ピアノ／元町プラザビル6階国鉄元町駅南側

23078 (三三一) 大四三九
★WWE CAPTURED A S
MALL UFO AT LAST
謎の飛行物体が神戸の上空に出で！ あつ貿易センタービルが破壊される……

グループZEROの会員で、長い間グループでのイベント活動を行なっていたタービルが破壊される……

世の中が不況ムードで少し暮し向きが悪くなると、一番そのしわよせを多く受けるのはやはり人や心身障害者などの生人や心身障害者などの生

活力の弱い人たちではな

いかと思う。

福祉元年といふ言葉が

さかんにとりあげられた

のは昨年だが、福祉二年めであるはずの今年は不

況ムードの影で福祉もど

に急騰し、倒産した企業

も多く、イララ、ハラ

ハラしどおしの一年だった。

これまでの年は、

年末になるとまた思

った感があった。

年末になるとまた思

う。年末になるとまた思

(H)

★11月号神戸百貨「神戸大学」の小倉宗夫さんの文中。神戸大学の前身に、神戸商科大学とあったのは神戸商業大学の間違いでした。訂正いたします。

四日まで京都のギャラリー16でも展示された。

★アトリエマニッシュから店舗移転通知到着。神戸市生田区北長狭通三丁目9／14 (391)四五四五です。

★アカデミ神戸ゆめのサロンの柴田多喜子さん（神戸市兵庫区熊野町一丁目72）が、十月十六日第一回総合教室内の発表会と展示会を、国際会館5F 小ホールと展示場で開かれました。（河出書房新社発行、上巻2巻320円）

★詩人の足立巻さんの労作「やちまた」が出版され、十一月二十日生田神社会館で出版記念会が開かれました。（河出書房新社発行、上巻2巻320円）

★神戸まつりや、神戸つ子の会でお世話をいたった岡本五治さんが亡くなり、十日平野東福寺で葬儀がありました。ご冥福をお祈りいたします。

榎忠さんが、久しぶりの個展を十一月三日から十日まで三宮さんプラザ二階の喫茶店パール横の空間で開催。「ここは誰でもが行ったり来たりできる場所でしょ。それだけでも画廊などと違ったハブニングが生まれるのではないかと思つて……」

六月から制作にかかりたといふ作品はドアを開けるとヒューヒューと円盤が飛び個室と写真。またこの作品は十一月十九日から二月十六日まで京都のギャラリー16でも展示された。

★画家の嶋田昭三さんが、転宅をから阪急神戸線西宮北口より今津線で逆瀬川下車、山手へ徒歩で七分位のところへ転居されました。新住所／宝塚市野上二丁目三番地51号（〒665）230797（七二一）四一七二・一五一四

六月から制作にかかりたといふ作品はドアを開けるとヒューヒューと円盤が飛び個室と写真。またこの作品は十一月十九日から二月十六日まで京都のギャラリー16でも展示された。

★画家の嶋田昭三さんは、十月初六日附で制作係長になられて本社勤務になり、新しい職場になられて新たな視点で、番組作りに努力したいとのことです。

★神戸大丸店長の福島徳男さんは十月末取締役に就任され、一層の努力をもって神戸店長の職務に専念したいとござります。

★ラジオ関西の吉岡謙さんは、十一月十六日附で制作係長になられて本社勤務になり、新しい職場になられて新たな視点で、番組作りに努力したいとのことです。

★アトリエマニッシュから店舗移転通知到着。神戸市生田区北長狭通三丁目9／14 (391)四五四五です。

★アカデミ神戸ゆめのサロンの柴田多喜子さん（神戸市兵庫区熊野町一丁目72）が、十月十六日第一回総合教室内の発表会と展示会を、国際会館5F 小ホールと展示場で開かれました。（河出書房新社発行、上巻2巻320円）

★神戸まつりや、神戸つ子の会でお世話をいたった岡本五治さんが亡くなり、十日平野東福寺で葬儀がありました。ご冥福をお祈りいたします。

KOBE POST

TE L 706 - 2 2 2 6
神戸市垂水区五色山4丁目13-36

力一八〇・一七七三一一二二八五
トバチナフ館合ナリ一ニハル・建築美術

LFA MEMBER
DRAFD ServiceMASTER

規則力一ニハル
外観柱頭スルハクアキタニ、内面柱頭ナリ
要素店、事務所、ホテル、銀行、販賣店等

元町4丁目 TE L (341)7290

三惠洋服店

ハナビシヤの紳士服の最高の店舗

元町1丁目 TE L (331)6195

大田篠申店

ハコ甲美術品セトナカナリの専門店

太田篠申店

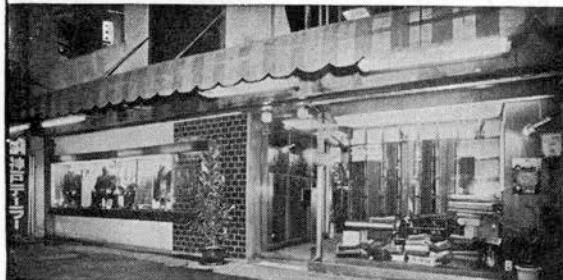
三宮・太丸北
4丁・口一
331-1309-6243

木賀美術

室内工芸品
絵画・洋画材料

高級紳士服専門店

神戸テーラー



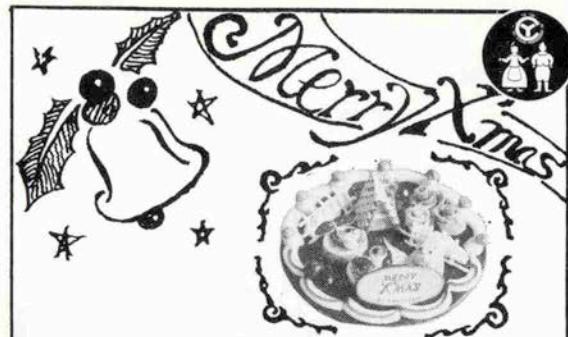
さんちかメンズタウン T E L (391)0388
生田区北長狭通2(阪急西口) T E L (331)2817・3173

MERRY CHRISTMAS



営業時間
A.M.11.30~P.M.9.00

支店
本店
大丸前・三宮神社東
TEL (331) 5677
5772
373
374
(毎週水曜日休み)
(第3水曜日休み)
さんちか味ののれん街
TEL (391) 5233



北欧の銘菓
ユーハイム・コンフェクト
・クリスマスケーキ予約承ります

■本社・工場・熊内店 神戸市垂合区熊内町1の8(市立美術館東隣) T E L 221-1164
■三宮センター街本店 神戸三宮センター街(洋菓子・喫茶・レストラン) T E L 331-2421
■さんちか店 神戸三宮地下街スィーツタウン内 T E L 391-3558

ヤタナカオ

ハイカラの伝統生きる

高級洋品雜貨

□
(331) 5573
5730
0705



まだ遅くなれ

葉月一郎

え・小西保文

(題字も)



△15△前衛部隊

層下がりの支局に、漢電（漢字電送機）タイプを叩く音が規則正しく流れた。

若いパンチャードの指が、熟練したピアニストのように文字盤の上を軽快に泳ぎ、リズミカルな響きを立てている。

支局の原稿は、この漢電によつて大阪の本社へ送られる。神戸でタイプを叩くと、同時に本社で受信用のテープが回り、そのまま活字化されるのである。

「発車、進行、ですね」

感慨をこめて、戸波は背後の泉田次長を振り返る。泉田が、ニコリともせずに肯く。

パンチャードが送信している原稿は、兵庫製鉄キャンベルの第一弾、「赤いけむり」と題した連載記事の一回目と二回目なのだ。
あと三日。来週の月曜から掲載がはじまる予定である。
「絵は、できたのですか」

「さすが、だな。なによりも、筆をとったときの姿勢が描いたのは地元の、というよりは日本の洋画界で、この二、三年前から大きく頭角を現してきた吉良陽之介。その画伯を起用して、とくに「公害の町のスケッチ」を書かせたのである。

いいよ」

連載記事には毎回写真を添えるつもりだった。それが、この朝、急拠、吉良画伯の絵に変更された。

画伯自身の知名度もある。が、それよりもスタッフの心を打ったのは、一連の絵の持つている凄惨なまでの迫力であった。あの枯淡なまでに物静かな従来の画調が、嘘のように一変していたのだ。

「それだけ、公害がひどいということやなあ」

届けられた絵を睨みつけていた石津支局長が、うなるような声を出した。そして、この男らしい速断で、写真を絵に変えることを決めたのである。

「見とつてみい。吉良センセイ、これからも、こんな調子の絵ばかり描くようになるで」

一流画家をバリバリと咬みくだいてしまいそうな、新聞人らしい征服欲が、その言葉のはしばしにうかがわれた。

「写真は写真で使おう。連載が終ったころにグラフ特集で、ぶつけられたい」

飽くことのない食欲をみせつけながら、支局長は絵から視線を離そうとしなかった。

キャンペーン記事の訴えかけ——。

同時に添えた、この絵の迫真力——。

身ぶるいしたくなるような興奮が、戸波を包む。

(黙つてたら、ちつともよくならないわ)

ユカの声を思い起こす。

そうだ。

記者も、絵かきも、巷の人たちも、みんなで声をそろえて叫び声を上げなくては……。

パンチャードの二回目の原稿を送りはじめた。

一回目は「住民のカルテ」つまり、東神戸で被害をうけている人たちの、症状や声をまとめたものである。

そして、この二回目の題は、「外堀・内堀」。大企業兵庫製鉄を城の本丸として、それを取り巻く堀割のような

おびただしい下請工場に対してもスケールを入れていて、工場の幹部による地元自治会の縮めつけ。公害反対の動きに対する封鎖作戦やアカ攻撃……。

神戸市と結んだ公害防止協定には、住民が立入り検査できることをうたっているが、その住民代表の一人は、有力下請会社報徳工業の有野社長が選ばれている事実も。

この二回目を松岡記者と二人で担当した戸波は、取材で知り合った地元の骨屋、金原祐介のことを思い出していた。

「新聞なんかアテにしとらん」

そういうながらも金原は、戸波が訪れるたびに資料を出してくれた。

無愛想な、早く帰れといわんばかりの応対なのに、手渡された資料は部厚く、一つひとつが正確で、的を射ていた。

「みんなにわかるように、うまいこと書けるかねえ」

冷笑ともとれる口元だった。

「誇張したら、あかんよ。ひかえ目に、おさえて書いてくれた方が効果があるからな」

まるで、編集局長みたいなことはも聞いた。

そのつど戸波の神経は、まるで火傷した皮膚のようにひきつった。

この男は、大企業のお膝元に住みつくという生活環境の中から、タケノコのように頭をもたげてきてている。「勇気」などという生易しいものではなく、もつとした信念が、この男を支えているに違いない。

「住民のな、心の痛みみたいなものをわかつたうえで、記事にしてもらいたいな」

四度目に会ったとき、金原はそういった。興味本位とか、一時的な正義感だけで取り上げるのなら、やめといてくれ、と顔に書いていた。

下町の骨屋の親父にすぎない金原の表情を、戸波はあらためてみづめ直していた。

(やはり、ただものではないな)

金原の住むあたりの町内自治会では、役員のなかば近くを彼の仲間が占めるようになっている。

下請会社の幹部が「みんな、アカバつかりじや」と、

敵意を露骨にみせたのを思い出す。

「いろいろご協力ありがとうございました。きっと、い

い原稿にしてみせますから」

心から、そう誓う。しかし金原は、もう背中をみせて

表替えの古疊に取り組んでいた。

いま、いよいよ本社へと送られてゆく自分の原稿を眺

めながら、戸波は形容しがたい充実感をおぼえる。

この五年間、これほど背後の願いの重さを両肩に意識

して鉛筆を握ったことがあつただろうか。

金原だけではない。

取材で会つた被害住民の一人ひとりが、まさに「心の痛み」をぶつけてきた。それを忘れてはなるまい。

あらためて、このキャンペーン企画を推し進めてきた

石津支局長の胸の内をのぞいてみたいと思う。

その支局長は、さきほどから席のそばのソファード来客と話しかけている。客は、まるでボクサー崩れを思われる中年の男である。

「泉田さん、あれ、だれですか？」

泉田が、投げ捨てるような口調で答える。

「兵庫製鉄さ」

「え？ 本当ですか？」

「正確にいうと、社員じゃない。ま、おかえみみたいな市会議員だよ。有野とかいったかな」

「有野？ 有野なら報徳工業の社長の……」

「うーん。たしか、その社長の弟だとかいつてたな」

見覚えがある。

兵庫製鉄の下請会社が組織している「ひょううてつ会」の、実質的な推薦候補者だ。地元の区で、いつも最高点で当選してきている。

招いたのか、押しかけて来たのか。

支局長の表情は、斜めうしろ向きで、見えにくい。男

の方は、いかにも市会議員らしいゆつたりした物腰で、軽く肯いたり、じつと腕組みして耳を傾けたり……

（これも、兵庫製鉄さし回しの、前衛部隊ともるべきか）

不意に、全く不意に、戸波の胸の中を亜紀子が占領してきた。

「もつと、もつと圧力がかかってくるかもしれませんわ」——そういって、うつむいた白いうなじ。

「お願い、強く抱いて」——震えを帯びた柔かな肢態の息づかい。

熱く、なまなましい前夜の記憶が、あざやかに蘇えつてくる……。

ふたりは、結ばれなかつた。
並んだ二組の夜具に横たわりはしたが、ついに肌を重ねることもなく朝を迎えたのである。

心中では、何よりもそれを求めながら、戸波はひたすら耐えた。

亜紀子も心の準備はできていたはずだ。激しくくちづけまでかわし、むしろそれを待ち望む気持ちもあつたに違いない。

なのに、ひとりの男である戸波にブレーキをかけたのは、何だったのだろうか。

先輩記者、それも相手側の工作のために記事を誤報扱いにされて自殺した、いわば悲劇の英雄記者の妹であつた、という新しい発見。それが、こだわりを生んだことは否定できない。

もうひとつ——。

そんな境遇の女性が、攻撃相手の公害工場の従業員であることは、記者にとって「好都合」には違いない。しかし、いや、だからこそ、肉体関係まで進んでしまつていいかどうか。

ためらいは、そこからも生れた。

亜紀子を六甲山頂のホテルまで誘つたのは、好意や欲

望や好奇心など、さまざまな情念に従つた行為にすぎない、ともいえる。所詮は、男の卑しい欲望だと片付けられても仕方のことだ。

(広い意味で、行きずりの女に対する感情と大差なかつたのかもしれない)

だが、先輩記者の妹であり、はつきりした意志をもつ

て公害工場の側から情報を探しつづけていてくれるとわかつたいま、軽々しく抱くわけにはいかないのではないか。

そんな理性を、戸波は持てました。

「ぼくには女房がいる。もう三年も前から別居したままだけど」

口に出すことで、自分の感情を封じこめようとした。

亞紀子は、しかし、表情ひとつ変えずに受けとめていた。

「知つてます」

「え？ そこまでわかつてたの？」

「ええ、みんな、うちの会社のリストに……」

「…………」

あらためて、兵庫製鉄の底知れぬ巨大さを思い知られる。

それにくらべて、こちらは、あまりにも知らなさすぎる。街を住みよくしたい、ただそれだけを願つて、素手で、ぶつかっているような無力感が、いつも心のどこかにあつた——。

ふろへ入る。

窓をしめて、霧をさえぎる。

浴衣姿で、床に横たわった亞紀子が、ひどく女っぽく映つた。新妻のような恥じらいが、眼元に浮かんでいる。

だが戸波は、からうじて自分を抑えた。

静かに、天井へ視線を移すと、亞紀子がつぶやいた。

「一緒に、四、五日ぐらい、旅行したいわ」

「……旅か。いいだろうなあ」

「九州へ、そう、兄が勤務していた町を、一緒に回つてみたい」

その町なら、一度だけ走り抜けたことがある。

昔の殿様の屋敷を改造した海辺の庭園、三宮にひけをとらぬほど賑わっていた繁華街、城山から見下ろした街のたたずまい、そして、濁りを知らぬ蒼い海——。

二人の記憶をつなぎあわせると、一つの城下町が完成了。

話がはずむ。話題は、若いのちを自ら絶つた亞紀子の兄へと移つていった。

入社後、はじめて地方版に載つた小さな自分の記事を、速達で送つてきた話。

ひとかかえもある名産の大根をかついで、帰省したときの想い出。

「自分の思ったことを、少し考えてから口に出すところなんか、戸波さんとそつくりでした」

深い深い瞳のいろである。兄を信じ、なつかしみ、愛している妹のこころが、そこにあるふれていくようなん……。

九州を語り、兄に触れることで、亞紀子も氣づまりな霧閉気をほぐそうとしているようにとれた。

はじめの一人だけの夜。それが、どうやら何事もなく明けそうだと、このとき戸波は思う。

(これでいい。このほうがよかつたのだ)

それは、確信に似ていた。

「母と、来年大学を出る弟と、三人で暮らしています。そ

の気になつたら、いちど、遊びに来て下さいね」

亞紀子がそう告げたとき、窓の向うに朝がのぞいた。

霧のかわりに、小鳥のさえずりが聞えた。

腹の底へ響くような重い声で、戸波は甘酸っぱい追想から引きもどされた。

声の主は、支局長と話しこんでいた市会議員の有野だつた。わめくのと同時にソファーから立ち上がりつたらしく、突つ立つた姿がみえた。

「やめるのか、書くのか、どちらやねん」

支局長をにらみすえたまま、有野の口から再び罵声が飛んだ。

思わず、急ぎ足で近寄る。

支局長は、その戸波へチラと目をやると、ゆっくり視線を有野へ戻した。

意外に平静な表情である。どうでもいいことを、なぜこんなに騒ぐのか、といった顔付きもある。

誘われるよう有野も再び腰をおろした。しかし、語調は荒れたままだった。

「ええかな。神戸に住んでいる人間として、兵庫製鉄に

弓をひくヤツを、黙つて見逃がすわけにはいかん、といふとるんやで」

「いや、そこのところが、よくわかりませんな。私たち

は、なにも、弓をひくとか……」

「やかましい。公害のこと、書き立てる。それも、アカ

のいう通りに騒ぎ立てるちゅうのはな、どうしても許せん。第一、社会不安を起すモトやないか

まるで、何一つ聞いていない素振りで、支局長はタバコをくわえた。ゆっくりと、ことばをはさんだ。

「ご批判は、なんぼでもお聞きます。でも、それは、

新聞に載つてからにしてくれませんか」

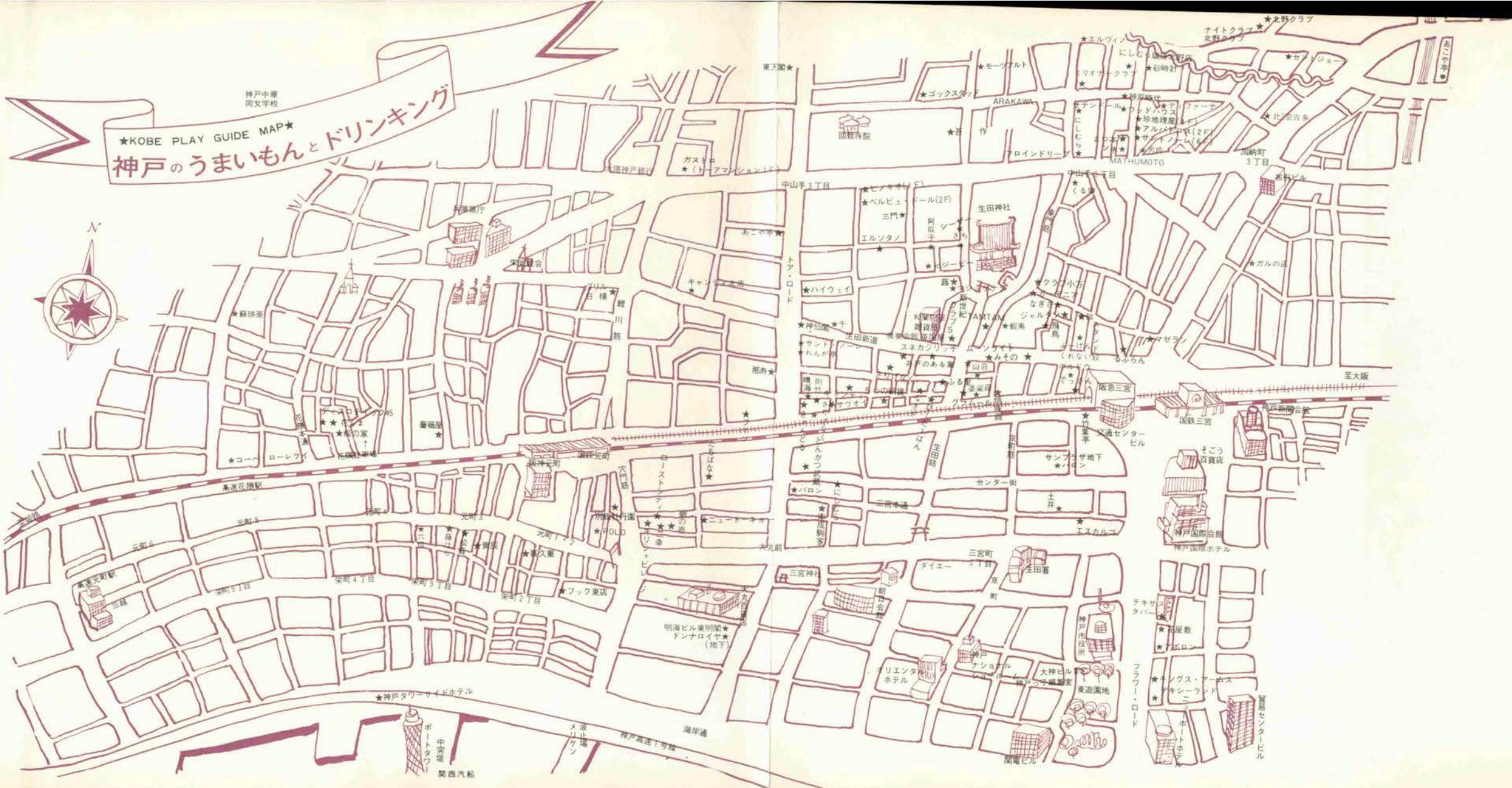
「それでは遅いから、こうやつて、わざわざ出て来とるんやないか。それに、そんなもんが出たら、新聞が売れんようになるで」

「結構です。いくら部数がへつても構いません」
はじめて強い口調が返る。
反射的に、有野が拳でテーブルを叩いた。
「ええ加減にせんか。え?
わしのうしろにはな、命知らずの若いもんが、五十人から百人はおるんやで」

歴戦のボクサーに似た顔のこめかみあたりで、血管が赤くふくれ上がってみえた。

(つづく)





baLOn antique series

XXIV ワイン棚

清水 俊夫
(クロス社長)

「わが家は、家族そろって夕食にワインを楽しむことにしていますので、いろいろ飾り棚や、グラスそれにワインも集めていますが、健康にもいいし一挙両得ですね。センター街のバロンはとても落ちついた雰囲気で、珈琲も美味しいからいいですね」

センター街バロンにて
カメラ／米田 定 藏



バロシ

★英國風喫茶・レストラン 三宮さんプラザ店
TEL 391-1758 AM11:00～PM 9:00迄

★コーヒーショップ トア・ロード店
TEL 391-1210 AM10:00～PM 9:00迄

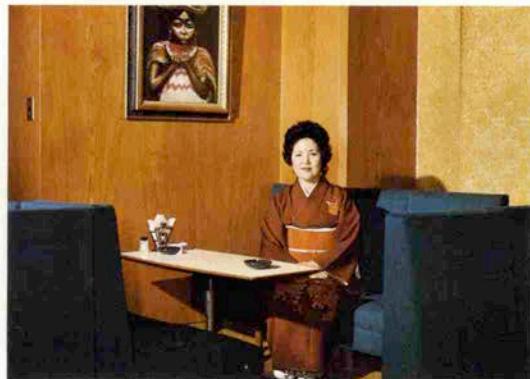
★コーヒーショップセンター街店
TEL 391-1375 AM10:00～PM 9:00迄

Christmas



CLUB AIKO

生田区中山手 2-89 ☎331-6069



club 小万

生田区東門筋中島ビル 3F ☎391-0638, 4386



GASTRO ガストロ

生田区中山手通 3-20 トーアマンション1階 ☎231-0723



カクテルラウンジ SAVOY サヴォイ 高架山側 テキの店北
☎ 331-2615

Merry



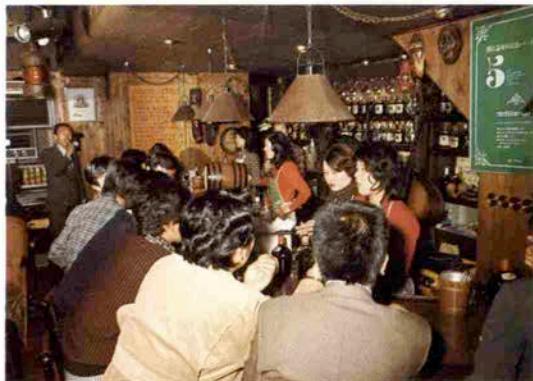
club なぎさ

生田区北長狭通 2 の 1 ☎ 331-8626



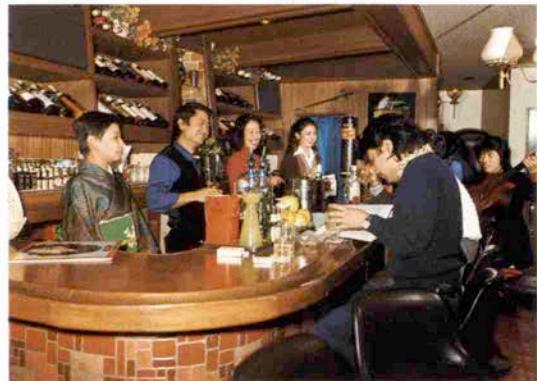
club ムーンライト

三宮・生田新道 ☎ 331-9554



Stand & Snack 山莊

生田区北長狭通 1 丁目 22 ☎ 391-5823



SNACK
VERSE

生田区加納町 4 ☎ 321-1080

MERRY CHRISTMAS

ナイトクラブ・レストラン 北野 クラブ

神戸市生田区北野町1-64 ☎ 321-2251

フレンチレストラン

ブランドウブラン

神戸市生田区京町77-1 神栄ビル ☎ 321-1455

レストラン

ストップホルム

東京都港区六本木6-11-9

スウェーデンセンター

☎ (03) 403-9046

クリスマスパーティーご案内

北野クラブ

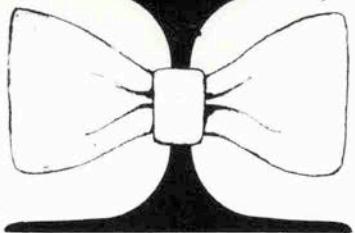
- レストラン 12月21日(土)～25日(水)
5:00P.M.～ お1人さま1万円
(2階レストランでのお食事、1階ナイトクラブでのテーブルチャージ、ショーチャージ、税、サービス料込み)

- ナイトクラブ 12月21日(土)～26日(木)
6:00P.M.～ お1人さま1万円
(飲み物、オードブル、テーブルチャージ、ショーチャージ、税、サービス料込み)

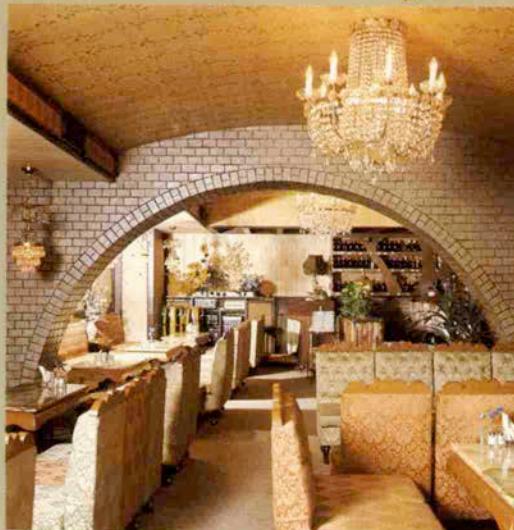
- 連日有名外人タレントの豪華ショー
<ブランドウブラン>

- 12月21日(土)～25日(水) 5:00P.M.～
お1人さま8千円
(クリスマス・スペシャルディナー、税、サービス料込み)

- 連日、楽しいアトラクション



Merry Christmas



くらぶ

山川

神戸市生田区北長狭通1丁目28の1(ホワイトローズビル3F)
電話(078)331・3225・9327

私とくらぶ山川<3>

私は仕事の関係で多くの友人、知人が居りますが、一日の仕事も終り「どこかで一杯」と言うと、皆んなが山川へゆこうかと山彦の様な返事が帰ってくる。

私はその一瞬何故山川が良いのかと思う。それは人情薄い、今日この頃、ママを頂点に美女と客の和、明るさ、話題の豊富さで、人生しばしの休息を與えてくれる山川。先日も東京方面に出張した時、ある会社の人と雑談中、地方の社交場の話になり、神戸ではと聞くと一番に生田新道くらぶ山川と言ってくれました。出張先でそういう声を聞くと一番嬉しくなって、帰神するまで愉快でした。

今後益々人生の喜びを與えてくれるくらぶ、山川でありますように。

福井運輸株式会社 社長 福井 嶽

神戸のくらぶ山川が淡路島にオールシーズンロッジをオープンしました。
只今会員募集中です。お問合せはofficeへどうぞ!

AWAJI
**YAMA
KAWA**

兵庫県津名郡五色町都志角川宇土井越1467番
PHONE 07993-3-0352 OFFICE 078-391-1958



民芸風
の落ち着いた大小の
お座敷と、お気軽な
テーブルの御食事処



うどんすき	¥ 1,200
寄せ鍋	¥ 1,200
すき焼	¥ 1,500
しゃぶしゃぶ	¥ 1,500
かにちらり	¥ 1,500
魚ちらり	¥ 1,500

● ランチタイム…定食二割引
※御宴会は80名様迄・ご家族様の小部屋もございます。

民芸風 お食事処

鍋物・会席

樂 珍

説急三宮西口北レインボープラザ3F

三宮阪急西口店 0321-5200(代表)

四季おりおりの 旬の味覚を存分に……

“婆娑羅”は カニ料理を中心に
四季おりおりの旬の味覚を存分に
ご賞味いただけ和風レストラン…
ご商談・ご宴会・ご家族連れまで
あらゆる集いに ご利用ください



神戸・三宮阪急西口北側レインボープラザ1-2F
☎(078)321-6363



かずかずの海の恵みが
味わえる季節…
なかでも
日本海のかニの味覚こそ
その王者といえましょ。

かに
婆娑羅の店

カクテルサルーン

Mermaid

は
神戸のオアシス!

貨物船ムード!

ゴージャスな雰囲気!!

各種洋酒、その他料理も多くとり
そろえて信じられない程安い価格
でお楽しみいただけます。

▲メンバーボトルも御利用下さい。



カクテルサルーン
マーメイド

神戸・三宮阪急西口北側 レインボープラザ地下
☎ (078) 331-7660
営業時間 — PM5:00 → PM11:30



Restaurant
Calvados
生田区山本通4丁目97
☎ 231-6137~8



DRINKING IS AN ART OF LIFE 生田区中山手通1丁目32
WOODHOUSE 山内ビル
☎ 241-7320

MERRY CHRISTMAS

割意 潮
うしお

西宮市小松西町2-1-1

☎ 0798-47-3001

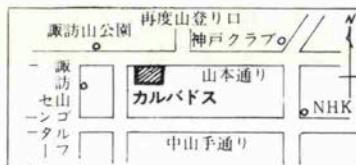


Regent House
SOELIA 生田区中山手通6丁目84
☎ 341-0658



★たとえば彼女と食事をしようとしてクルマに乗ったとする。さて、どこへ行くか? 静かな場所で、ムードのあるところというと……。仲々決まらない。が、もし、君が一度でも“カルバドス”へ行ったことがあるのなら、迷わず、クルマは諭訪山へ……。閑静な周囲にうまくマッチした欧風調のシャレたレストラン“カルバドス”。ピアノの音色と甘いボーカルがきっと彼女を魅了するだろう。君が洗練されたセンスを誇るなら、“カルバドス”こそ君にピッタリの店なのだ。〈ピアノ&ボーカル〉 月・水・金・土曜日 山本憲一、羽岡利幸、火・日曜日 坂本二、レギュラー 高橋真知子

☆ヘレミニッツステーキー￥ 2,000 ピーフシチュー——￥ 1,500
エビとパンのフライ——￥ 800 ミートボールシチュー——￥ 1,300
サラダ——￥ 500 タンシチュー——￥ 1,300
バレンタイン￥ 500 バレンタインボトル￥ 7,000
7:00P.M. ~ 2:00A.M. 木曜日休み



カルバドス

★寒い冬にはじまって、すがすがしい春をむかえ、暑い暑い夏も乗り越え、さわやかな秋がすぎ……早いもので街はもう冬。“ウッドハウス”的一年がアツという間にすぎました。

ありがとうございました。“ウッドハウス”は皆さまのおかげで一周年を迎えることができました。本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。

1974年もあとわずか……。今年一年何があったか。カウンターの片隅で、グラス片手にほんやり思い出すいろんな出来事に、ただニヤニヤ。

1974年のビリオドは、“ウッドハウス”で飲み納め。

☆年末年始の営業案内

12月31日④休業。1月1日⑤2日⑥3日⑦4日⑧は 5:00P.M. ~ 0:00A.M. 6日⑨より平常通り営業いたします。1月19日⑩20日⑪21日⑫は臨時休業いたします。

☆昼(11:30A.M. ~ 7:00P.M.)コーヒー￥150 紅茶￥150 ビラフ￥250
サービスランチ￥300 夜(7:00P.M. ~ 4:30A.M.)ビール(小)￥300
水割り(OL D)￥400 フィズ￥500 おつまみ￥100 平日11:30A.M.
~ 4:30A.M. 日曜5:00P.M. ~ 0:00A.M. 第1・3日曜日休み



ウッドハウス

Merry
Christmas



ウシオ



★東欧ブルガリアの首都ソフィア。ロマンの香り漂う北の町——。このほどお目見えたRegent House “SOFIA”は、そんなロマンチックなあこがれを秘めたお店です。ティー＆スナックタイムには、香り高い珈琲が、レストラン＆ワインタイムには、SOFIA特製の料理の数が、寒い季節を忘れさせてくれます。粹で、スマートなあなたを魅了するお店。あなたかく、落ち着いた雰囲気のお店“SOFIA”。神戸の山手にたそがれがせまる頃、“SOFIA”は一段とその輝きをましてくるのです。専用駐車場完備。

☆
Tea Time 珈琲￥250 ストレート珈琲￥350 より、ベーコンエッグサンド￥400 より ミラノ風スパゲティーなど 〈Restaurant Time〉
ソフィア特製スープ￥350 ソフィア特製テリヤキ￥2,000 より エスカルゴ￥800 ウィスキーキーブトル￥6,000 より 〈ティー＆スナックタイム〉 11:00A.M. ~ 6:00P.M. 〈レストラン＆ワインタイム〉 6:00P.M. ~ 11:00P.M. (日曜日は 5:00P.M. ~ 11:00P.M.) 第2・4日曜日休み

★割烹“潮”的落ち着いた雰囲気の中で、腕自慢の板前さんの手になる日本料理をお召しあがりになりませんか。12月で開店2周年をむかえましたが、おかげさまで、この間、味につきましては多くの方々から定評をいただいております。お客様の人数やご注文のお料理によって、カウンター席、椅子席、座敷席をご利用いただけます。お料理では、特に、天アラとうなぎが自慢です。これから季節には、忘年会、新年会など、20名様までの宴会を承っております。ぜひ、一度、お立ち寄り下さい。

☆天アラ定食￥1,200 刺し身定食￥1,200 うなぎ定食￥3,000
他に、スッポン鍋、テッカリ、魚チリ、うどんすきなど各種の日本料理がございます。

12:00P.M. ~ 3:00P.M. 5:00P.M. ~ 11:00P.M. 第1・2・3・4月曜日休み